

2022年度 自己評価公表
 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷こども園こうのとり東

聖隷こども園こうのとり東 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- * 愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- * 一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- * 自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- * 在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性向上と園内研修の充実のために～」を使用し、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を次年度の取り組みにつなげていきたいと思えます。

	自己評価・課題
第1章 総則 「教育・保育の基本」	昨年度に引き続き、「～について説明できますか」という自分の言葉で語る設問に自信がもてない職員が多い。「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」については、園内での学びを通して園の目標・指導計画との関連性を職員間で確認していく必要性を感じる。
第2章 「ねらい」及び「内容」	自園には地域性として、外国人の子が1クラスに数人通ってきている。そのような環境の中で、「外国の旗を見たり、書いたり」や「様々な国の文化に触れる機会」の設問への実施回答率が低かった。どのような方法でも良いので外国への関心を高めたり、一人ひとりの違いに気付いた上で認め合える関係性を築いたりしていくように努める。
第3章 健康及び安全	園内の怪我（受診あり、なし）、ヒヤリハットを毎月危機管理委員会で振り返り、対策を立てている。職員への周知も素早く行えるように、掲示板の活用を始め、気づいた職員が誰でも発信ができるようにした。
第4章 子育て支援	子育て家庭の相談には、外部の関係機関へ連絡・相談して連携及び協力を図ることが大切だが、新人職員などは関係機関についての情報を理解していない場合もみられた。

<p>第 5 章 職員の資 質向上</p>	<p>研修に参加した後、他の職員に研修内容を報告する機会がなかなか取れないことが多いので、会議の内容を精査し研修報告の時間を確保していく。他の職員に報告することで、研修に参加した職員の学びが深まり、また他の職員も保育知識が増えることとなり、ひいては保育の質の向上へと繋がっていくと考える。</p>
<p>全体として</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より引き続き、園内研修で子どもの主体性についての学びをディスカッションを通して深めている。様々な事例における子どもの姿や保育者の関わりに対して意見交換を重ねていくことで、職員の保育に対する気づきが互いに得られている。保育者が自身の保育を振り返る事が保育の質を高める一歩になると感じる。 ・専門職として、保護者や地域の方に自身の保育を説明できる力が求められる。言語化することに慣れていない現状があるので、学びながら経験値をあげていきたい。また、諸法令などの理解において自分の言葉で説明する項目の実施回答率も低かったので研修などの学びを通して自信を持って自らの言葉で説明ができるようになることが課題である。